

手術中の医療者を被ばくから守る

数値計算と局所測定によるX線防護具開発の効率化

アピールポイント

- ✓ 数値計算で被ばく量分布を推定
- ✓ 小型線量計で局所の被ばく量を測定
- ✓ 数値計算結果を実測値と比較検証



技術の特徴

- 複雑なX線照射条件における被ばく量分布を数値計算で3次元的に推定
- 小型線量計（直径8mm・厚さ0.5mm）により、局所の被ばく量を実測
- 数値計算の結果は、線量計による実測結果と比較検証可能

企業へのご提案

- 数値計算と線量計による実測の組み合わせにより、室内のX線量の分布を可視化できます。
 - X線防護具の効率的な製品開発に役立ちます。
- 興味のある方は、是非ご相談ください。

技術の概要

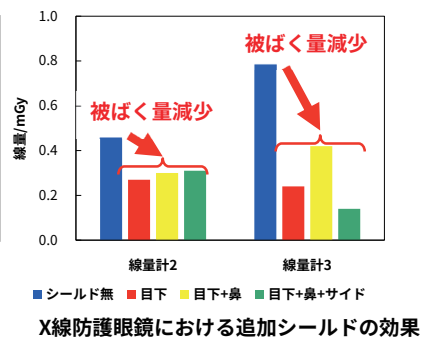
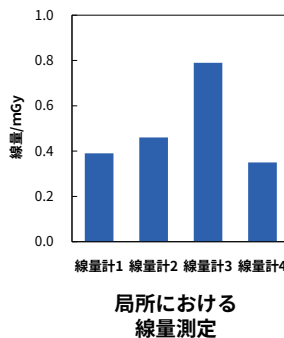
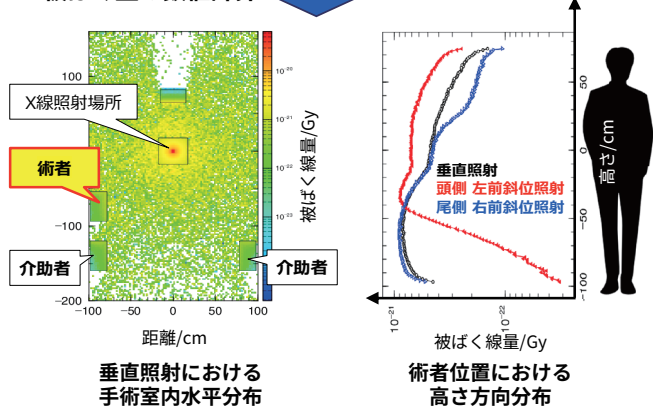
数値計算の活用例



小型線量計の活用例



被ばく量の数値計算



技術支援部
計測分析技術グループ
河原 大吾

共同研究機関 ディーブイエックス(株)、(株)保科製作所、東京蒲田病院